

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	リベラルアーツ特論2 (英語構文研究)	
科目基礎情報							
科目番号	4S18			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	安部 規子						
到達目標							
(1) 自分の専門分野に關係する英文をある程度のスピードをもって読解し、わかりやすい日本語にすることができる。 (2) 自分の専門分野に關係するトピックについて、わかりやすい英語でまとまった内容を書くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙	専門的な内容を伝える語彙が習得されている。		基本的な語彙は習得されている。		基本的な語彙が習得されていない。		
評価項目2 リーディング	英文の内容を十分理解し、わかりやすい日本語にできる。		英文の内容の大筋を理解し、日本語に直すことができる。		英文の内容がわからないし、日本語にも直せない。		
評価項目3 ライティング	適切な構文と語彙を用いて、英文を書くことができる。		基本的な内容は英文で伝えることができる。		構文も語彙も適切な英文が書けない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この授業では、やや高度な内容の英語のリーディングとライティングを行う。語彙と基本文法を復習するとともに、それらを応用して、さらに発展的なレベルのリーディングとライティングができるようになることを目標にする。						
授業の進め方・方法	順番で担当学生が適切な内容とレベルのリーディング及びライティング課題を用意し、自分なりの解答解説を行い、全員でのディスカッションにより、さらに完成した日本語や英文をめざす。						
注意点	毎回課題を出すので、必ず授業で提出すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクション		この授業の目的を理解する。		
		2週	Reading 1		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		3週	Writing 1		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		4週	Reading 2		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		5週	Writing 2		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		6週	Reading 3		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		7週	Writing 3		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		8週	復習		これまでの内容を復習する。		
	4thQ	9週	Reading 4		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		10週	Writing 4		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		11週	Reading 5		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		12週	Writing 5		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		13週	Reading 6		英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。		
		14週	Writing 6		短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。		
		15週	復習		これまでの内容を復習する。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	40	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0